

# 地域子育てネットワークだより

平成30年10月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部男女家庭課 電話：(078)341-7711 内線 2798

E-MAIL: [danjokatei@pref.hyogo.lg.jp](mailto:danjokatei@pref.hyogo.lg.jp)

<https://web.pef.hyogo.lg.jp/kk17/network-dayori.html>

## 「ひょうご家庭応援県民大会」を開催します！

入場無料

と き：平成30年11月10日（土）  
13：00～15：15  
と ころ：兵庫県公館 大会議室



### 【主な内容】

- 第11回「家族の日」写真コンクール表彰式
- 事例発表
- 講演 ラジオ・パーソナリティー  
谷 五郎 氏

兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課

電 話：(078)362-3385 FAX：(078)362-3891

Eメール：[danjokatei@pref.hyogo.lg.jp](mailto:danjokatei@pref.hyogo.lg.jp)

兵庫県では、家族・家庭のきずなを深めること  
の大切さを考え、地域で家庭を支える取組を進め  
るため、「ひょうご家庭応援県民大会」を開催し  
ます。

今年度は、ラジオ・パーソナリティーの谷五郎  
氏に「家族のカタチ」をテーマにご講演いただき  
ます。

心がなごむ「家族」の写真も展示して、みなさ  
んのお越しをお待ちしています。

## 「ひょうご子育て応援の店」パスポート会員募集中！

県では、企業・店舗等が18歳未満の子どもがいる子育て世帯に割引・特典等のサ  
ービスを行う「ひょうご子育て応援の店」を実施しています。現在約80,000世帯  
がパスポート会員として県内約4,800店の協賛店から物販、飲食、その他のサービ  
スを受けていますので、ぜひこの機会にご登録ください。

### サービス内容の例

- ・料金の割引（特定日に割引、ポイント加算、景品プレゼント等）
  - ・協賛店が主催する行事への参加（子ども向け行事への参加等）
  - ・子ども連れにやさしい設備の利用（プレイルーム、授乳室、ベビーベッドの利用等）
- ※各企業・店舗等の企画により特典は異なります。

★協賛企業・店舗等の検索・サービス内容確認など詳しくは・・・「ひょうご子育て応援の店」

ホームページ <http://www.hyogo-kosodate.jp/>

【問合せ先】男女家庭課078-362-3385

ひょうご子育て応援の店

検索

## 応援ネットの 活動紹介

声かけ・見守り活動  
などで子育て家庭を  
応援する「子育て応援  
ネット」の各地の取り  
組みを紹介します。

子どもや子育てを取り巻く環境が複雑多様化する中、市民や団体等が協働し、地域ぐるみで子育て家庭を支援するため、たつの市では、「子育てネットワーク推進協議会」を設置しました。その活動内容としては、子育て家庭への支援や声かけ等の子育て家庭応援運動、虐待や問題行動のSOSサインを関係機関へ繋いでいくネットワーク作り等です。

毎年、「児童虐待防止推進月間」では、市民の児童虐待防止への関心と理解を広めるため、市内のスーパーや各地域の行事等で啓発グッズを配布する等のPR活動を行っています。

今後も、子育て中の親子を社会から孤立させることのないよう、地域ぐるみで声かけや温かい見守り支援を行っていきたいと思っております。

たつの市子育てネットワーク推進協議会  
会長 山本 榮子



## まちの子育てひろばの 活動紹介



川西市の西猪名公園子育てクラブは県立西猪名公園が地域の子育てと公園を繋ぐ取組みで開設したまちの子育てひろばです。

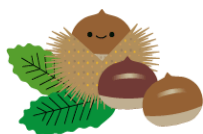
月1回の活動では公園ならではの解放感のある外遊び・足裏を刺激する運動遊び・自然観察・読み聞かせ・工作遊びなど公園の施設や環境を活用した自由参加の親子交流の場を作っています。

今年の夏は近隣の園児と一緒にウォーターランドプレオープンを行い、秋には県立こどもの館の指導員による体験活動を計画しています。

子どもの笑顔に接すると育ちを支えることの喜びと大切さを実感できます。

このひろばを地域の方々の知識と協力を得て地域ぐるみの子育て支援の場になることを目標に今後の活動を広げたいと思います。

「西猪名公園子育てクラブ」  
管理事務所スタッフ 牛島智美



## 屋外でからだところこのリフレッシュを

県立こども病院名誉院長 中村 肇

連載  
第136回

今年の夏休みは、すさまじい猛暑と度重なる台風の襲来を受け、子どもたちは屋外で自然と共に過ごす時間が短かったのではないのでしょうか。

私自身の少年時代の夏の思い出は、一日中屋外で、友だちと野球をしたり、近くの川や池で泳いだり、魚釣りに興じていた日々です。いまは、川や池で泳ぐことは禁じられ、通りでキャッチボールもできません。自らの命への危険、他人への迷惑もあるとは思いますが、気の毒な感じがします。

いよいよ運動会シーズンです。秋の青空の下で、大きなスピーカー音とともに子どもたちが発する元気いっぱいの歓声が、校庭から町中に響き渡ってくると、地域の大人たちにも活気を与えてくれます。

屋外での運動・遊びは、子どもの身体を鍛えるだけでなく、からだとかからだのふれあいが他人とのコミュニケーション能力の開発に役立ちます。太陽の光と熱をいっぱい浴びるのが、地球上のすべての生物の育ての親となっているのです。